

## II 調査結果の概要

### (問1) 人権に関する宣言や条例等の認知状況

問1 人権に関する宣言や条例等の認知状況 (図1) (上段:人・下段:%)

	回答者数	どんな内容か知っている	内容は知らないが、名称は聞いたことがある	知らなかった	無回答・不明
(1) 「部落解放・人権擁護の町」宣言	489 100.0	73 14.9%	233 47.6%	153 31.3%	30 6.1%
(2) 豊能町人権尊重のまちづくり条例	489 100.0	33 6.7%	213 43.6%	225 46.0%	18 3.7%
(3) 人権教育及び人権啓発の推進に関する法	489 100.0	42 8.6%	196 40.1%	232 47.4%	19 3.9%
(4) 個人情報保護法	489 100.0	310 63.4%	127 26.0%	35 7.2%	17 3.5%
(5) 同和対策審議会答申	489 100.0	65 13.3%	168 34.4%	236 48.3%	20 4.1%
(6) 児童虐待の防止等に関する法律	489 100.0	169 34.6%	233 47.6%	71 14.5%	16 3.3%
(7) 交通バリアフリー法	489 100.0	106 21.7%	202 41.3%	163 33.3%	18 3.7%
(8) 世界人権宣言	489 100.0	126 25.8%	279 57.1%	70 14.3%	14 2.9%

(参考 図1-1)

(上段:人・下段:%)

	回答者数	「どんな内容か知っている」と「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」の合計	知らなかった	無回答・不明
(1) 「部落解放・人権擁護の町」宣言	489 100.0	306 62.6%	153 31.3%	30 6.1%
(2) 豊能町人権尊重のまちづくり条例	489 100.0	246 50.3%	225 46.0%	18 3.7%
(3) 人権教育及び人権啓発の推進に関する法	489 100.0	238 48.7%	232 47.4%	19 3.9%
(4) 個人情報保護法	489 100.0	437 89.4%	35 7.2%	17 3.5%
(5) 同和対策審議会答申	489 100.0	233 47.6%	236 48.3%	20 4.1%
(6) 児童虐待の防止等に関する法律	489 100.0	402 82.2%	71 14.5%	16 3.3%
(7) 交通バリアフリー法	489 100.0	308 63.0%	163 33.3%	18 3.7%
(8) 世界人権宣言	489 100.0	405 82.8%	70 14.3%	14 2.9%

人権に関する宣言や条例等について「どんな内容か知っている」と「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」の合計でみると「(4)個人情報保護法」(89.4%)、「(8)世界人権宣言」(82.8%)、「(6)児童虐待の防止等に関する法律」(82.2%)の順で知っている人が多く、特に「(4)個人情報保護法」は、「どんな内容か知っている」が63.4%もあった。(参考 図1-1)

(問2) 人権に関する施設、イベントの認知状況

問2 人権に関する施設、イベントの認知状況 (図2) (上段:人・下段:%)

	回答者数	実際行ったことがある	行った(参加した)ことはないが、名称は聞いたことがある	知らなかった	無回答・不明
(1) 町立ふれあい文化センター	489 100.0	35 7.2%	251 51.3%	192 39.3%	11 2.2%
(2) ふれあいフォーラム	489 100.0	41 8.4%	246 50.3%	190 38.9%	12 2.5%
(3) 人権を考える集い	489 100.0	47 9.6%	211 43.1%	220 45.0%	11 2.2%

(参考 図2-1)

(上段:人・下段:%)

	回答者数	合計 参加した こと はないが、 名称は聞いた ことがある の 名 参 こ	実際行った(参加した)ことはないが、名称は聞いたことがある	知らなかった	無回答・不明
(1) 町立ふれあい文化センター	489 100.0	286 58.5%	286 58.5%	192 39.3%	11 2.2%
(2) ふれあいフォーラム	489 100.0	287 58.7%	287 58.7%	190 38.9%	12 2.5%
(3) 人権を考える集い	489 100.0	258 52.7%	258 52.8%	220 45.0%	11 2.2%

人権に関する施設、イベントについて、「実際に行ったことがある」と「行ったことはないが、名称は聞いたことがある」の合計でみると、「(2)ふれあいフォーラム」が58.7%、「(1)町立ふれあい文化センター」が58.5%、「(3)人権を考える集い」が52.7%の認知度であった。

(参考 図2-1)

(問3) 風習についての考え方

問3 慣習や風習に対する考え方 (図3)

(上段: 人・下段: %)

	回答者数	も当然のことにしている(%)	とけおかしの反対しても仕方ない(%)	に間違っていていると思う(%)	無回答・不明
(1) 結婚式は大安の日でないとうまくないという考え方	489 100.0	109 22.3%	165 33.7%	206 42.1%	9 1.8%
(2) 結婚相手の家柄がよいとかよくないとかいう考え方	489 100.0	57 11.7%	139 28.4%	285 58.3%	8 1.6%
(3) 結婚のときに相手方の身元を調査すること	489 100.0	110 22.5%	122 24.9%	247 50.5%	10 2.0%
(4) 結婚式場での「〇〇家、〇〇家結婚披露宴」といった掲示	489 100.0	239 48.9%	119 24.3%	123 25.2%	8 1.6%
(5) 家を建てるときに方角がよいとかよくないとかいう考え方	489 100.0	220 45.0%	129 26.4%	132 27.0%	8 1.6%

「間違っている」が50%を超えているものは、「(2)結婚相手の家柄」(58.3%)、「(3)結婚の際の身元調査」(50.5%)であった。(図3)

(参考 図3-1)

(上段: 人・下段: %)

	回答者数	と自分だけの反対しても仕方ない(%)	に間違っていていると思う(%)	無回答・不明
(1) 結婚式は大安の日でないとうまくないという考え方	489 100.0	274 56.0%	206 42.1%	9 1.8%
(2) 結婚相手の家柄がよいとかよくないとかいう考え方	489 100.0	196 40.1%	285 58.3%	8 1.6%
(3) 結婚のときに相手方の身元を調査すること	489 100.0	232 47.4%	247 50.5%	10 2.0%
(4) 結婚式場での「〇〇家、〇〇家結婚披露宴」といった掲示	489 100.0	358 73.2%	123 25.2%	8 1.6%
(5) 家を建てるときに方角がよいとかよくないとかいう考え方	489 100.0	349 71.4%	132 27.0%	8 1.6%

「当然のことと思う」と「自分だけ反対しても仕方ないと思う」の合計が50%を超えているものは、「(4)結婚披露宴における『家』の表示」(73.2%)、「(5)家を建てる時の方角」(71.4%)、「(1)結婚式は大安の日」(56.0%)、などであった。(参考 図3-1)

(問4) 自尊感情

問4 自分自身に対する意識(図4)

(上段:人・下段:%)

	回答者数	は か な り ( 大 い に ) あ て は ま る	や や あ て は ま る	あ ま り あ て は ま ら な い	あ ほ と ん ど ( ま つ た く ) あ て は ま ら な い	か な ん と も い え な い 、 わ か ら な い	無 回 答 ・ 不 明
(1) 現在、自分の生活は充実している	489 100.0	100 20.4%	262 53.6%	75 15.3%	13 2.7%	34 7.0%	5 1.0%
(2) 自分には、ほかの人にはないよい点があると思う	489 100.0	65 13.3%	246 50.3%	89 18.2%	11 2.2%	71 14.5%	7 1.4%
(3) 自分は何をやってもだめな人間だと思うことがある	489 100.0	7 1.4%	69 14.1%	202 41.3%	157 32.1%	46 9.4%	8 1.6%
(4) 自分は人とうまくやっっていける人間だと思う	489 100.0	88 18.0%	271 55.4%	70 14.3%	12 2.5%	40 8.2%	8 1.6%
(5) 自分は困難なことでも何とかやり遂げることができると思う	489 100.0	92 18.8%	268 54.8%	66 13.5%	9 1.8%	47 9.6%	7 1.4%
(6) 自分はまわりの人から期待されていないと思うことがある	489 100.0	10 2.0%	70 14.3%	205 41.9%	113 23.1%	83 17.0%	8 1.6%
(7) 自分の人生はどんなに努力してもうまくいくとは限らないと思う	489 100.0	25 5.1%	102 20.9%	164 33.5%	129 26.4%	62 12.7%	7 1.4%
(8) 世間の人は誰も自分をきちんと評価してくれていないと思う	489 100.0	2 0.4%	47 9.6%	195 39.9%	133 27.2%	105 21.5%	7 1.4%

(参考 図4-1)

(上段:人・下段:%)

	回答者数	は か な り ( 大 い に ) あ て は ま る の 合 計	あ ま り あ て は ま ら な い の 合 計	あ ほ と ん ど ( ま つ た く ) あ て は ま ら な い の 合 計	明 か な ん と も い え な い 、 わ か ら な い ・ 無 回 答 ・ 不 明 の 合 計
(1) 現在、自分の生活は充実している	489 100.0	362 74.0%	88 18.0%	39 8.0%	
(2) 自分には、ほかの人にはないよい点があると思う	489 100.0	311 63.6%	100 20.4%	78 15.9%	
(3) 自分は何をやってもだめな人間だと思うことがある	489 100.0	76 15.5%	359 73.4%	54 11.0%	
(4) 自分は人とうまくやっっていける人間だと思う	489 100.0	359 73.4%	82 16.8%	48 9.8%	
(5) 自分は困難なことでも何とかやり遂げることができると思う	489 100.0	360 73.6%	75 15.3%	54 11.0%	
(6) 自分はまわりの人から期待されていないと思うことがある	489 100.0	80 16.4%	318 65.0%	91 18.6%	
(7) 自分の人生はどんなに努力してもうまくいくとは限らないと思う	489 100.0	127 26.0%	293 59.9%	69 14.1%	
(8) 世間の人は誰も自分をきちんと評価してくれていないと思う	489 100.0	49 10.0%	328 67.1%	112 22.9%	

「かなり(大いに)あてはまる」と「ややあてはまる」の合計では、「(1)現在、自分の生活は充実している」(74.0%)、「(5)自分は困難なことでも何とかやり遂げることができると思う」(73.6%)、「(4)自分は人とうまくやっっていける人間だと思う」(73.4%)などが多い。(参考 図4-1)

(問5) 人権のイメージ

問5 人権のイメージ (図5)

(上段：人・下段：%)

	回答者数	近非常にAに	いややAに近	いややBに近	近非常にBに	などどちらでも	明無回答・不
(1) A. 暗い/B. 明るい	489	21	155	57	21	222	13
	100.0	4.3%	31.7%	11.7%	4.3%	45.2%	2.7%
(2) A. 温かい/B. 冷たい	489	28	136	80	14	221	10
	100.0	5.7%	27.8%	16.4%	2.9%	45.2%	2.0%
(3) A. 自己中心/B. 他人尊重	489	19	65	120	47	225	13
	100.0	3.9%	13.3%	24.5%	9.6%	46.0%	2.7%
(4) A. 好きな/B. 嫌いな	489	14	49	58	8	349	11
	100.0	2.9%	10.0%	11.9%	1.6%	71.3%	2.2%
(5) A. せまい/B. ひろい	489	16	113	92	36	221	11
	100.0	3.3%	23.1%	18.8%	7.4%	45.2%	2.2%
(6) A. 苦しい/B. 楽しい	489	18	101	42	10	304	14
	100.0	3.7%	20.7%	8.6%	2.0%	62.2%	2.9%
(7) A. 身近な/B. 縁遠い	489	29	85	93	31	237	14
	100.0	5.9%	17.4%	19.0%	6.3%	48.5%	2.9%
(8) A. 有効な/B. 無意味な	489	42	125	44	17	244	17
	100.0	8.6%	25.6%	9.0%	3.5%	49.9%	3.5%
(9) A. 強制的な/B. 自発的な	489	17	101	111	29	220	11
	100.0	3.5%	20.7%	22.7%	5.9%	45.0%	2.2%
(10) A. 近づきたい/B. 遠ざかりたい	489	17	62	48	16	333	13
	100.0	3.5%	12.7%	9.8%	3.3%	68.1%	2.7%
(11) A. 意欲的な/B. 無気力な	489	19	110	37	5	304	14
	100.0	3.9%	22.5%	7.6%	1.0%	62.2%	2.9%
(12) A. 古い/B. 新しい	489	41	95	99	27	215	12
	100.0	8.4%	19.4%	20.2%	5.5%	44.0%	2.5%
(13) A. 親しみやすい/B. 親しみにくい	489	14	60	105	30	269	11
	100.0	2.9%	12.3%	21.5%	6.1%	55.0%	2.2%
(14) A. 自由な/B. 不自由な	489	34	75	93	15	259	13
	100.0	7.0%	15.3%	19.0%	3.1%	53.0%	2.7%

人権のイメージでは、どの項目も「どちらでもない」が最も多い。(図5-1)

(参考 図5-1)

(上段：人・下段：%)

	回答者数	近い・非常 のやに 合やA 計Aに に近	近い・非常 のやに 合やB 計Bに に近	ないど 明、ち の無ら 合回で 計答も ・な
(1) A. 暗い/B. 明るい	489	176	78	235
	100.0	36.0%	16.0%	47.9%
(2) A. 温かい/B. 冷たい	489	164	94	231
	100.0	33.5%	19.3%	47.2%
(3) A. 自己中心/B. 他人尊重	489	84	167	238
	100.0	17.2%	34.1%	48.7%
(4) A. 好きな/B. 嫌いな	489	63	66	360
	100.0	12.9%	13.5%	73.5%
(5) A. せまい/B. ひろい	489	129	128	232
	100.0	26.4%	26.2%	47.4%
(6) A. 苦しい/B. 楽しい	489	119	52	318
	100.0	24.4%	10.6%	65.1%
(7) A. 身近な/B. 縁遠い	489	114	124	251
	100.0	23.3%	25.3%	51.4%
(8) A. 有効な/B. 無意味な	489	167	61	261
	100.0	34.2%	12.5%	53.4%
(9) A. 強制的な/B. 自発的な	489	118	140	231
	100.0	24.2%	28.6%	47.2%
(10) A. 近づきたい/B. 遠ざかりたい	489	79	64	346
	100.0	16.2%	13.1%	70.8%
(11) A. 意欲的な/B. 無気力な	489	129	42	318
	100.0	26.4%	8.6%	65.1%
(12) A. 古い/B. 新しい	489	136	126	227
	100.0	27.8%	25.7%	46.5%
(13) A. 親しみやすい/B. 親しみにくい	489	74	135	280
	100.0	15.2%	27.6%	57.2%
(14) A. 自由な/B. 不自由な	489	109	108	272
	100.0	22.3%	22.1%	55.7%

「非常に」と「やや」を合計した「近い」が多いイメージは、「(1)A. 暗い」が36.0%、「(8)A. 有効な」が34.2%、「(2)A. 温かい」が33.5%、「(3)B. 他人尊重」が34.2%、「(9)B. 自発的な」が28.6%などであった。(参考 図5-1)

(問6) 人権の考え方

問6 人権の考え方に対する意見 (図6)

(上段:人・下段:%)

	回答者数	そう思う	まあそう思う	いあまりそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	わからない	無回答・不明
(1) 人権は自分の生活には関係ない	489 100.0	21 4.3%	50 10.2%	87 17.8%	206 42.1%	103 21.1%	14 2.9%	8 1.6%
(2) 人権は職場の中では通用しない	489 100.0	34 7.0%	66 13.5%	87 17.8%	175 35.8%	92 18.8%	26 5.3%	9 1.8%
(3) 人権は夫婦の間では関係ない	489 100.0	49 10.0%	63 12.9%	57 11.7%	226 46.2%	74 15.1%	10 2.0%	10 2.0%
(4) 人権は幼児には関係ない	489 100.0	51 10.4%	36 7.4%	56 11.5%	289 59.1%	40 8.2%	8 1.6%	9 1.8%
(5) 人権は外国人労働者には関係ない	489 100.0	36 7.4%	20 4.1%	58 11.9%	292 59.7%	56 11.5%	14 2.9%	13 2.7%
(6) 人権は結婚とは関係ない	489 100.0	51 10.4%	60 12.3%	51 10.4%	213 43.6%	82 16.8%	22 4.5%	10 2.0%
(7) 人権は職業の選択とは関係ない	489 100.0	98 20.0%	68 13.9%	57 11.7%	169 34.6%	68 13.9%	20 4.1%	9 1.8%

人権の考え方に対する意見では、どの項目も「そう思わない」が最も多くなっている。「そう思わない」が多い項目は、「(5)人権は外国人労働者には関係ない」が59.7%、「(4)人権は幼児には関係ない」が59.1%などであった。(図6)

(参考 図6-1)

(上段:人・下段:%)

	回答者数	そう思う の合計	計り そう 思わ ない のあ ま	ど ち ら と も い え な い	答 わ か ら な い 、 無 回 答
(1) 人権は自分の生活には関係ない	489 100.0	71 14.5%	293 59.9%	103 21.1%	22 4.5%
(2) 人権は職場の中では通用しない	489 100.0	100 20.4%	262 53.6%	92 18.8%	35 7.2%
(3) 人権は夫婦の間では関係ない	489 100.0	112 22.9%	283 57.9%	74 15.1%	20 4.1%
(4) 人権は幼児には関係ない	489 100.0	87 17.8%	345 70.6%	40 8.2%	17 3.5%
(5) 人権は外国人労働者には関係ない	489 100.0	56 11.5%	350 71.6%	56 11.5%	27 5.5%
(6) 人権は結婚とは関係ない	489 100.0	111 22.7%	264 54.0%	82 16.8%	32 6.5%
(7) 人権は職業の選択とは関係ない	489 100.0	166 33.9%	226 46.2%	68 13.9%	29 5.9%

「そう思う」と「まあそう思う」の合計では、「(7)人権は職業の選択とは関係ない」(33.9%)、「(3)人権は夫婦の間では関係ない」(22.9%)、「(6)人権は結婚とは関係ない」(22.7%)が多い順となっている。(参考 図6-1)

(問7) 結婚に関して、人柄や性格以外で気になること

問7(1) 既婚・未婚の状況 (図7-1) (上段:人・下段:%)

回答者数	未婚	既婚 (離婚、 死別を含 む)	無回答・不明
489	65	419	5
100.0	13.3%	85.7%	1.0%

問7(2) 結婚相手の気になること、気になると思うこと (複数回答) (図7-2) (上段:人・下段:%)

回答者数	相手の学歴	相手の経済力	相手の職業	相手の家柄	相手の国籍・民族	相手の家族に障害を持つ人がいるかどうか	相手の宗教	相手が同和地区出身者かどうか	その他	とくに気にしない	無回答・不明
65	14	36	27	11	16	10	32	11	6	19	0
100.0	21.5%	55.4%	41.5%	16.9%	24.6%	15.4%	49.2%	16.9%	9.2%	29.2%	0.0%

問7(3) 結婚相手の実際に気になったこと (複数回答) (図7-3) (上段:人・下段:%)

回答者数	相手の学歴	相手の経済力	相手の職業	相手の家柄	相手の国籍・民族	相手の家族に障害を持つ人がいるかどうか	相手の宗教	相手が同和地区出身者かどうか	その他	とくに気にしない	無回答・不明
419	131	179	159	102	106	64	119	103	20	128	0
100.0	31.3%	42.7%	37.9%	24.3%	25.3%	15.3%	28.4%	24.6%	4.8%	30.5%	0.0%

既婚の人で実際に気になったことは(問7(3))、「相手の経済力」(42.7%)、「相手の職業」(37.9%)、「相手の学歴」(31.3%)、「相手の宗教」(28.4%)、「相手の国籍・民族」(25.3%)、「相手が同和地区出身者かどうか」(24.6%)、「相手の家柄」(24.3%)、「相手の家族に障害を持つ人がいるかどうか」(15.3%)の順となっている。(図7-3)

(問8) 子どもの結婚に関して、人柄や性格以外で気になること

問8 (1) 子どもの有無 (図8-1) (上段:人・下段:%)

回答者数	既婚の子と未婚の子両方がいる(含む)	未婚の子のみがいる	子はいない	無回答・不明
489	213	170	93	13
100.0	43.6%	34.8%	19.0%	2.7%

問8 (2) 子どもの結婚相手の実際に気になったこと (複数回答) (図8-2) (上段:人・下段:%)

回答者数	相手の学歴	相手の経済力	相手の職業	相手の家柄	相手の国籍・民族	か持つ相手の家族に障害を かどうかがいるか	相手の宗教	相手と同和地区出身者かどうかが	その他	とくに気にしない	無回答・不明
213	67	105	88	58	54	42	44	56	16	57	1
100.0	31.5%	49.3%	41.3%	27.2%	25.4%	19.7%	20.7%	26.3%	7.5%	26.8%	0.5%

自分の子の結婚で実際に気になったこと(問8(2))は、「相手の経済力」(49.3%)、「相手の職業」(41.3%)、「相手の学歴」(31.5%)、「相手の家柄」(27.2%)、「相手と同和地区出身者かどうかが」(26.3%)、「相手の国籍・民族」(25.4%)、「相手の宗教」(20.7%)、「相手の家族に障害を持つ人がいるかどうかが」(19.7%)の順となっている。(図8-2)

問8 (3) 子どもの結婚相手の気になること、気になると思うこと (複数回答) (図8-3) (上段:人・下段:%)

回答者数	相手の学歴	相手の経済力	相手の職業	相手の家柄	相手の国籍・民族	か持つ相手の家族に障害を かどうかがいるか	相手の宗教	相手と同和地区出身者かどうかが	その他	とくに気にしない	無回答・不明
263	65	152	103	74	74	46	108	63	16	56	1
100.0	24.7%	57.8%	39.2%	28.1%	28.1%	17.5%	41.1%	24.0%	6.1%	21.3%	0.4%



(問9) 人権に関する記事や番組との接触状況と効果

問9 人権問題に関する記事や番組を読んだり見たりした経験の有無(図9) (上段:人・下段:%)

	回答者数	たど読ん がたり、 あり、 理解に 役立っ たこと はあ るが、 あま り参 考に なら な かつ た	読ん だり 見 たり し た こ と は あ る が、 あ ま り 参 考 に な ら な かつ た	と読ん だり、 見 たり し た こ と は あ る が、 あ ま り 参 考 に な ら な かつ た	無回答・不明
(1) 広報紙(「広報とよの」、人権啓発冊子「かがやき」など)	489 100.0	154 31.5%	192 39.3%	121 24.7%	22 4.5%
(2) パンフレット・冊子、ポスター	489 100.0	114 23.3%	211 43.1%	134 27.4%	30 6.1%
(3) テレビ・ラジオ番組	489 100.0	204 41.7%	128 26.2%	129 26.4%	28 5.7%
(4) 映画・ビデオ	489 100.0	188 38.4%	117 23.9%	159 32.5%	25 5.1%
(5) 書籍	489 100.0	165 33.7%	83 17.0%	215 44.0%	26 5.3%
(6) 新聞・雑誌	489 100.0	204 41.7%	145 29.7%	121 24.7%	19 3.9%

「読んだり、見たりしたことがあり、理解に役立った」ものは、「(3)テレビ・ラジオ」及び「(6)新聞・雑誌」(いずれも41.7%)、「(4)映画・ビデオ」(38.4%)の順であった。(図9)

(参考 図9-1)

(上段:人・下段:%)

	回答者数	かたど読ん つがたり、 ああり、 まのまり、 り合 計参 考に な ら な かつ た	と読ん だり 見 たり し た こ と は あ る が、 あ ま り 参 考 に な ら な かつ た	無回答・不明
(1) 広報紙(「広報とよの」、人権啓発冊子「かがやき」など)	489 100.0	346 70.8%	121 24.7%	22 4.5%
(2) パンフレット・冊子、ポスター	489 100.0	325 66.5%	134 27.4%	30 6.1%
(3) テレビ・ラジオ番組	489 100.0	332 67.9%	129 26.4%	28 5.7%
(4) 映画・ビデオ	489 100.0	305 62.4%	159 32.5%	25 5.1%
(5) 書籍	489 100.0	248 50.7%	215 44.0%	26 5.3%
(6) 新聞・雑誌	489 100.0	349 71.4%	121 24.7%	19 3.9%

「読んだり、見たりしたことがあり、理解に役立った」と「読んだり、見たりしたことはあるが、あまり参考にならなかった」を合計した接触率が高い順番は、「(6)新聞・雑誌」(71.4%)、「(1)広報紙(「広報とよの」、人権啓発冊子「かがやき」など)(70.8%)、「(3)テレビ・ラジオ」(67.9%)、「(2)パンフレット等」(66.5%)、「(4)映画・ビデオ」(62.4%)、「(5)書籍」(50.7%)となっている。(参考 図9-1)

(問10) 人権問題で関心のあるもの

問10 人権問題で関心のあるもの(複数回答)(図10) (上段:人・下段:%)

回答者数	同和問題	セクシュアル・ハラスメントなど女性の人権問題	障害者の人権問題	財産や金銭の詐取、虐待などの高齢者の人権問題	いじめや虐待など子どもの人権問題	採用拒否や入居拒否などの外国人の人権問題	HIV感染者、ハンセン病回復者等の人権問題	犯罪被害者とその家族の人権問題	ホームレスの人権問題	プライバシーをめぐる人権問題	その他	とくにない	無回答・不明
489	103	182	219	226	368	100	118	184	68	204	8	26	6
100.0	21.1%	37.2%	44.8%	46.2%	75.3%	20.4%	24.1%	37.6%	13.9%	41.7%	1.6%	5.3%	1.2%

人権問題で関心のあるものは、「いじめや虐待など子どもの人権問題」(75.3%)、「財産や金銭の詐取、虐待などの高齢者の人権問題」(46.2%)、「障害者の人権問題」(44.8%)、「プライバシーをめぐる人権問題」(41.7%)、「犯罪被害者とその家族の人権問題」(37.6%)の順になっている。(図10)

(問11) 人権問題について自分で勉強等をしたもの

問11 人権問題で勉強したり、読んだり、見たりしたもの(図11) (上段:人・下段:%)

回答者数	新聞の関係記事を読んだことがある	雑誌の関係記事を読んだことがある	関係のある書籍を読んだことがある	副読本にんげんを読んだことがある	学校で使われている同和教育関係のテレビ番組を見たことがある	関係のある映画を見たことがある	和地区の実態を見たり、同地区の人と話しあつたことがある	示をみたことがある	リパティおおさかななどの展	その他	とくにない	無回答・不明
489	280	140	135	145	239	203	100	33	12	73	8	8
100.0	57.3%	28.6%	27.6%	29.7%	48.9%	41.5%	20.4%	6.7%	2.5%	14.9%	1.6%	1.6%

人権の問題について自分で勉強したり、読んだり、見たりした経験は、「新聞の関係記事」(57.3%)、「関係のテレビ番組」(48.9%)、「関係のある映画」(41.5%)、「副読本にんげん」(29.7%)の順になっている。(図11)

(問12) 人権擁護に熱心に取り組んでいる身近な人

問12 知り合いで差別問題の解消等に熱心に取り組んでいる人があるか (図12) (上段:人・下段:%)

回答者数	いる	いない	無回答・不明
489	81	377	31
100.0	16.6%	77.1%	6.3%

知り合いの中で差別問題の解消や人権擁護に熱心に取り組んでいる人がある人の割合は16.6%であった。(図12)

問12-1 差別問題の解消等に取り組んでいる人との関係 (複数回答) (図12-1)

(上段:人・下段:%)

回答者数	家族	親戚	近所の人	友人	職場の人	学校の先生	府や市町村の職員	府内の市町村人権啓発住民組織や地域団体で活動している人など	その他	無回答・不明
81	14	4	5	23	21	17	15	18	7	0
100.0	17.3%	4.9%	6.2%	28.4%	25.9%	21.0%	18.5%	22.2%	8.6%	0.0%

本人と熱心に取り組んでいる人との関係は、「友人」(28.4%)、「職場の人」(25.9%)、「府内の市町村人権啓発住民組織や地域団体で活動している人」(22.2%)、「学校の先生」(21.0%)、などであった。(図12-1)

(問13) 「差別」というものについての考え方

問13 「差別」に対する考え (図13)

(上段：人・下段：%)

	回答者数	賛成	えどちらかかとい	えどちらかかとい	反対	わからない	無回答・不明
(1) 差別は、人間として最も恥ずべき行為の一つである	489 100.0	259 53.0%	152 31.1%	23 4.7%	6 1.2%	36 7.4%	13 2.7%
(2) 差別は世の中に必要なこともある	489 100.0	25 5.1%	74 15.1%	82 16.8%	202 41.3%	89 18.2%	17 3.5%
(3) あらゆる差別をなくすために行政は努力する必要がある	489 100.0	242 49.5%	154 31.5%	18 3.7%	7 1.4%	54 11.0%	14 2.9%
(4) 差別は法律で禁止する必要がある	489 100.0	139 28.4%	119 24.3%	50 10.2%	25 5.1%	140 28.6%	16 3.3%
(5) 差別の原因には差別される人の側に問題があることも多い	489 100.0	56 11.5%	140 28.6%	79 16.2%	72 14.7%	122 24.9%	20 4.1%
(6) 差別される人はまず世の中に受け入れられるよう努力すべき	489 100.0	85 17.4%	163 33.3%	69 14.1%	53 10.8%	104 21.3%	15 3.1%
(7) 差別だという訴えをいちいち取り上げていたらきりがない	489 100.0	45 9.2%	113 23.1%	120 24.5%	92 18.8%	100 20.4%	19 3.9%
(8) 差別される人の言葉をきちんと聞く必要がある	489 100.0	215 44.0%	205 41.9%	14 2.9%	5 1.0%	34 7.0%	16 3.3%
(9) 差別を問題にすることによってより問題が解決しにくくなる	489 100.0	57 11.7%	118 24.1%	82 16.8%	96 19.6%	119 24.3%	17 3.5%
(10) 差別に無関心な人にもきちんと理解してもらうことが必要	489 100.0	156 31.9%	191 39.1%	35 7.2%	9 1.8%	81 16.6%	17 3.5%
(11) 差別問題は差別されている人の問題で自分には関係ない	489 100.0	8 1.6%	32 6.5%	115 23.5%	235 48.1%	79 16.2%	20 4.1%

(参考 図13-1)

(上段：人・下段：%)

	回答者数	計ばら賛成か成とのいど合えち	計ばら反対か対とのいど合えち	合答いわ計・不無ら明回なの
(1) 差別は、人間として最も恥ずべき行為の一つである	489 100.0	411 84.0%	29 5.9%	49 10.0%
(2) 差別は世の中に必要なこともある	489 100.0	99 20.2%	284 58.1%	106 21.7%
(3) あらゆる差別をなくすために行政は努力する必要がある	489 100.0	396 81.0%	25 5.1%	68 13.9%
(4) 差別は法律で禁止する必要がある	489 100.0	258 52.8%	75 15.3%	156 31.9%
(5) 差別の原因には差別される人の側に問題があることも多い	489 100.0	196 40.1%	151 30.9%	142 29.0%
(6) 差別される人はまず世の中に受け入れられるよう努力すべき	489 100.0	248 50.7%	122 24.9%	119 24.3%
(7) 差別だという訴えをいちいち取り上げていたらきりがない	489 100.0	158 32.3%	212 43.4%	119 24.3%
(8) 差別される人の言葉をきちんと聞く必要がある	489 100.0	420 85.9%	19 3.9%	50 10.2%
(9) 差別を問題にすることによってより問題が解決しにくくなる	489 100.0	175 35.8%	178 36.4%	136 27.8%
(10) 差別に無関心な人にもきちんと理解してもらうことが必要	489 100.0	347 71.0%	44 9.0%	98 20.0%
(11) 差別問題は差別されている人の問題で自分には関係ない	489 100.0	40 8.2%	350 71.6%	99 20.2%

「賛成」と「どちらかといえば賛成」と回答した人の合計が多い項目は、「(8)差別される人の言葉をきちんと聞く必要がある」(85.9%)、「(1)差別は、人間として最も恥ずべき行為のひとつである」(84.0%)、「(3)あらゆる差別をなくすために行政は努力する必要がある」(81.0%)などであった。

逆に「反対」と「どちらかといえば反対」と回答した人の合計が多い項目は、「(11)差別問題は差別されている人の問題で自分には関係ない」(71.6%)、「(2)差別は世の中に必要なこともある」(58.1%)、「(7)差別だという訴えをいちいち取り上げていたらきりがない」(43.4%)などであった。(参考 図13-1)

(問14) 同和問題の認知状況

問14 同和問題・部落問題などと呼ばれている  
差別の問題の認知状況 (図14) (上段:人・下段:%)

回答者数	知っている	知らない	無回答・不明
489	474	8	7
100.0	96.9%	1.6%	1.4%

同和問題を認知している人の割合は96.9%であった。(図14)

問14-1 差別の問題をはじめに知ったきっかけ(単一回答)  
(図14-1-1) (上段:人・下段:%)

回答者数	聞いた 父母や 家族から	近所の 人から	学校の 友達から	職場の 人から	学校の 授業で	講演会、 研修会 などで	広府 報県、 誌市 で町 読んだ 村の	新 聞、 雑誌、 映画、 テレビ、 映画、 書籍 などで	近 くに 「同 和地 区」 があ った	その他	おぼ えて いな い	無 回 答・ 不 明
322	72	7	12	12	123	15	5	23	27	8	16	2
100.0	22.5%	2.2%	3.8%	3.8%	38.4%	4.7%	1.6%	7.2%	8.4%	2.5%	5.0%	0.6%

問14-1 差別の問題をはじめに知ったきっかけ(複数回答)  
(図14-1-2) (上段:人・下段:%)

回答者数	聞いた 父母や 家族から	近所の 人から	学校の 友達から	職場の 人から	学校の 授業で	講演会、 研修会 などで	広府 報県、 誌市 で町 読んだ 村の	新 聞、 雑誌、 映画、 テレビ、 映画、 書籍 などで	近 くに 「同 和地 区」 があ った	その他	おぼ えて いな い	無 回 答・ 不 明
152	92	24	31	33	66	45	39	76	61	2	2	0
100.0	60.5%	15.8%	20.4%	21.7%	43.4%	29.6%	25.7%	50.0%	40.1%	1.3%	1.3%	0.0%

問14-2 世間はどのようなことで同和地区出身者と判断すると思うか(複数回答)  
(図14-2) (上段:人・下段:%)

回答者数	本人が 現在、 同和 地区に 住んで いる	本人の 本籍地 が同和 地区に ある	本人の 出生地 が同和 地区に ある	本人の 出生地 が同和 地区に ある	父母 ある いは 祖父 母が 同和 地区 に住 んで いる	父母 ある いは 祖父 母が 同和 地区 に住 んで いる	父母 ある いは 祖父 母が 同和 地区 に住 んで いる	断 職 業に よ って 判 断	その他	わ か ら な い	無 回 答・ 不 明
474	253	122	187	185	149	144	140	98	10	92	3
100.0	53.4%	25.7%	39.5%	39.0%	31.4%	30.4%	29.5%	20.7%	2.1%	19.4%	0.6%

「差別の問題をはじめに知ったきっかけ」は、単一回答を求めたが、152人が複数回答されたため、単一回答と複数回答の双方を集計し傾向を把握することにした。  
(図14-1-1・図14-1-2)

「同和地区出身者の判断基準」については、「本人が現在、同和地区に住んでいる」(53.4%)、「本人の本籍地が同和地区にある」(39.5%)、「本人の出生地が同和地区である」(39.0%)、「父母あるいは祖父母が同和地区に住んでいる」(31.4%)の順になっている。(図14-2)

(問15) 同和地区のイメージ

問15 同和地区という言葉のイメージ (図15)

(上段:人・下段:%)

	回答者数	非常にAに近い	ややAに近い	ややBに近い	非常にBに近い	どちらともいえない	無回答・不明
(1) A. 上品な/B. 下品な	474 100.0	0 0.0%	3 0.6%	180 38.0%	49 10.3%	231 48.7%	11 2.3%
(2) A. やさしい/B. こわい	474 100.0	2 0.4%	11 2.3%	182 38.4%	65 13.7%	202 42.6%	12 2.5%
(3) A. 清潔な/B. 不潔な	474 100.0	0 0.0%	5 1.1%	154 32.5%	45 9.5%	261 55.1%	9 1.9%
(4) A. 進んでいる/B. 遅れている	474 100.0	3 0.6%	20 4.2%	147 31.0%	38 8.0%	256 54.0%	10 2.1%
(5) A. 豊かな/B. 貧しい	474 100.0	9 1.9%	38 8.0%	174 36.7%	39 8.2%	206 43.5%	8 1.7%
(6) A. 働きもの/B. なまけもの	474 100.0	12 2.5%	52 11.0%	55 11.6%	17 3.6%	328 69.2%	10 2.1%

「どちらともいえない」については、「(6)働きもの・なまけもの」で69.2%、「(3)清潔な・不潔な」で55.1%、「(4)進んでいる・遅れている」で54.0%の順で50%を超えている。(図15)

(参考 図15-1)

(上段:人・下段:%)

	回答者数	非常にAに近い の合計	非常にBに近い の合計	合計 どちらともいえない 無回答・不明 の
(1) A. 上品な/B. 下品な	474 100.0%	3 0.6%	229 48.3%	242 51.1%
(2) A. やさしい/B. こわい	474 100.0%	13 2.7%	247 52.1%	214 45.1%
(3) A. 清潔な/B. 不潔な	474 100.0%	5 1.1%	199 42.0%	270 57.0%
(4) A. 進んでいる/B. 遅れている	474 100.0%	23 4.9%	185 39.0%	266 56.1%
(5) A. 豊かな/B. 貧しい	474 100.0%	47 9.9%	213 44.9%	214 45.1%
(6) A. 働きもの/B. なまけもの	474 100.0%	64 13.5%	72 15.2%	338 71.3%

「非常」と「やや」を合計した「近い」が多いイメージは、「(2)B. こわい」が52.1%、「(1)B. 下品な」が48.3%、「(5)B. 貧しい」が44.9%となっており、Aに「近い」が多いイメージは、「(6)働きもの」が13.5%、「(5)豊かな」が9.9%となっている。(参考 図15-1)

(問16) 同和地区の人たちは、就職するときに不利になると思うか

問16 同和地区の人は就職のとき不利になることがあると思うか (図16) (上段:人・下段:%)

回答者数	あししばしば不利になることがある	たまに不利になることがある	不利になることはない	わからない	無回答・不明
474	77	141	76	164	16
100.0	16.2%	29.7%	16.0%	34.6%	3.4%

(参考 図16-2)  
(上段:人・下段:%)

あししばしば不利になることがあるの合計	不利になることはない	わからない、無回答・不明の合計
218	76	180
46.0%	16.0%	38.0%

「あししばしば不利になることがある」と「たまに不利になることがある」を合計した「不利になる」と思う人の合計は46.0%、「不利になることはない」は16.0%であり、「わからない」と「無回答・不明」の合計が38.0%であった。

(参考 図14-2)

問16-1 就職する時の問題は近い将来なくせるか (図16-1) (上段:人・下段:%)

回答者数	完全になくすことができる	かなりなくすことができる	なくすことは難しい	無回答・不明
218	21	145	51	1
100.0	9.6%	66.5%	23.4%	0.5%

(参考 図16-1-1)  
(上段:人・下段:%)

完全になくすことができるの合計	なくすことは難しい	わからない、無回答・不明の合計
166	51	1
76.1%	23.4%	0.5%

「不利になる」と思う人の将来展望では、「完全になくすことができる」と「かなりなくすことができる」を合計した「なくすことができる」が76.1%、「なくすことは難しい」が23.4%であった。

(参考 図16-1-1)

(問17) 同和地区の人たちは結婚に反対されることがあると思うか

問17 同和地区の人は結婚に反対されることがあると思うか (図17) (上段:人・下段:%)

回答者数	あ しばしば 反対され ることが ある	たまに 反対され ることが ある	反対され ること はない	わから ない	無回 答・不 明
474	103	183	30	131	27
100.0	21.7%	38.6%	6.3%	27.6%	5.7%

(参考 図17-2)  
(上段:人・下段:%)

あ らゆる こと がある の 合計	反 対 さ れ る こ と は な い	わ か ら な い 、 無 回 答 ・ 不 明 の 合 計
286	30	158
60.3%	6.3%	33.3%

「しばしば反対されることがある」と「たまに反対されることがある」を合計した「反対される」と思う人の合計は60.3%、「反対されることはない」は6.3%であり、「わからない」や「無回答」が33.3%であった。  
(参考 図17-2)

問17-1 結婚する際の反対を近い将来なくせるか (図17-1) (上段:人・下段:%)

回答者数	完 全 に な く す こ と が で き る	か な り な く す こ と が で き る	な く す こ と は 難 し い	無回 答・不 明
286	25	173	86	2
100.0	8.7%	60.5%	30.1%	0.7%

(参考 図17-1-2)  
(上段:人・下段:%)

完 全 に な く す こ と が で き る ・ か な り な く す こ と が で き る の 合 計	な く す こ と は 難 し い	わ か ら な い 、 無 回 答 ・ 不 明 の 合 計
198	86	2
69.2%	30.1%	0.7%

「反対される」と思う人の将来展望では、「完全になくすことができる」と「かなりなくすことができる」を合計した「なくすことができる」が69.2%、「なくすことは難しい」が30.1%であった。(参考 図17-1-2)



(問18) 同和地区の人たちは、低くみられると思うか

問18 同和地区の人たちは同和地区に生活していることで低く見られる (図18) (上段:人・下段:%)

回答者数	しばしばある	たまにある	そういうことはない	わからない	無回答・不明
474	84	173	97	101	19
100.0	17.7%	36.5%	20.5%	21.3%	4.0%

(参考 図18-2)  
(上段:人・下段:%)

のしばしばある・たまにあるの合計	そういうことはない	のわからない・無回答・不明の合計
257	97	120
54.2%	20.5%	25.3%

「しばしばある」と「たまにある」を合計した「低くみられる」と思う人の合計は54.2%、「低くみられることはない」は20.5%であり、「わからない」や「無回答」が25.3%であった。(図18-2)

問18-1 低く見られたりすることを近い将来なくせるか (図18-1) (上段:人・下段:%)

回答者数	完全になくすことができる	かなりなくすことができる	なくすことは難しい	無回答・不明
257	24	156	73	4
100	9.3%	60.7%	28.4%	1.6%

(参考 図18-1-2)  
(上段:人・下段:%)

きる完全の合計	なくすことは難しい	のわからない・無回答・不明の合計
180	73	4
70.0%	28.4%	1.6%

「低くみられる」と思う人の将来展望では、「完全になくすことができる」と「かなりなくすことができる」を合計した「なくすことができる」が70.0%、「なくすことは難しい」が28.4%であった。(参考 図18-1-2)

(問19) 同和問題についての学習経験

問19 学校や職場・地域での同和問題についての学習経験(複数回答)(図19) (上段:人・下段:%)

回答者数	小学校で受けた	中学校で受けた	高校で受けた	大学で受けた	市民対象の講座など	職場の研修で受けた	PTAや民間団体の主催で受けた	その他	はい	いいえ	受けたことはない	無回答・不明
489	160	147	72	22	41	113	70	6	69	79	9	
100.0	32.7%	30.1%	14.7%	4.5%	8.4%	23.1%	14.3%	1.2%	14.1%	16.2%	1.8%	

学習経験の時期については、「小学校」(32.7%)、「中学校」(30.1%)、「職場」(23.1%)、「高校」(14.7%)、「民間団体等が主催する研修」(14.3%)の順になっており、「受けたことはない」は16.2%であった。(図19)

(問20) 「同和地区の人はこわい」というような話を聞いた経験

問20 同和地区の人は「こわい」というような話を聞いた経験の有無(図20) (上段:人・下段:%)

回答者数	ある	ない	無回答・不明
489	312	162	15
100.0	63.8%	33.1%	3.1%

「同和地区の人はこわい」というような話を聞いた経験がある人は、63.8%であった。(図20)

問20-1 同和地区の人は「こわい」というような話を聞いた人との関係(複数回答)(図20-1) (上段:人・下段:%)

回答者数	家族	親戚	近所の人	友人	職場の人	学校の先生	府や市町村の職員	知らない人	その他	無回答・不明
312	113	49	78	124	62	5	4	17	32	1
100.0	36.2%	15.7%	25.0%	39.7%	19.9%	1.6%	1.3%	5.4%	10.3%	0.3%

話を聞いた相手は、「友人」(39.7%)、「家族」(36.2%)、「近所の人」(25.0%)、「職場の人」(19.9%)の順であった。(図20-1)

問20-2 同和地区の人は「こわい」というような話を聞いた時の感想(図20-2) (上段:人・下段:%)

回答者数	そのとおりに思った	ああ、そうかと思つた	反発・疑問を感じた	なにかつた何とも思わ	無回答・不明
312	41	198	52	19	2
100.0	13.1%	63.5%	16.7%	6.1%	0.6%

聞いた時の感想は、「そのとおりに思った」が13.1%、「反発・疑問を感じた」が16.7%であった。(図20-2)

**(問21) 同和対策がやりすぎ・不公平というような話を聞いた経験**

問21 同和対策がやりすぎ・不公平というような話を聞いた経験の有無(図21) (上段:人・下段:%)

回答者数	ある	ない	無回答・不明
489	278	193	18
100.0	56.9%	39.5%	3.7%

同和対策がやりすぎ・不公平というような話を聞いた経験がある人は、56.9%であった。(図21)

問21-1 やりすぎ・不公平というような話を聞いた人との関係(複数回答)  
(図21-1) (上段:人・下段:%)

回答者数	家族	親戚	近所の人	友人	職場の人	学校の先生	府や市町村の職員	知らない人	その他	無回答・不明
278	59	28	64	120	87	12	13	20	40	2
100.0	21.2%	10.1%	23.0%	43.2%	31.3%	4.3%	4.7%	7.2%	14.4%	0.7%

話を聞いた相手は、「友人」(43.2%)、「職場の人」(31.3%)、「近所の人」(23.0%)、「家族」(21.2%)の順であった。  
(図21-1)

問21-2 やりすぎ・不公平というような話を聞いた時の感想  
(図21-1) (上段:人・下段:%)

回答者数	思ったとおり	そのとおり	たあるの	そうの	じ反発・	なとく	無回答・不明
278	80	160	23	10	5		
100.0	28.8%	57.6%	8.3%	3.6%	1.8%		

聞いた時の感想は、「そのとおりと思った」が28.8%、「反発・疑問を感じた」が8.3%であった。  
(図21-2)

**(問22) 差別的情報に対する反論を聞いた経験**

問22 同和地区への差別的情報に対する反論を聞いた経験の有無(図22) (上段:人・下段:%)

回答者数	ある	ない	無回答・不明
489	135	333	21
100.0	27.6%	68.1%	4.3%

差別的情報に対する反論を聞いた経験がある人は、27.6%であった。(図22)

問22-1 反論を聞いた人との関係(複数回答)  
(図22-1) (上段:人・下段:%)

回答者数	家族	親戚	近所の人	友人	職場の人	学校の先生	府や市町村の職員	住民の市町村人権啓発活動している人など	その他	無回答・不明
135	27	11	13	50	42	25	10	16	11	4
100.0	20.0%	8.1%	9.6%	37.0%	31.1%	18.5%	7.4%	11.9%	8.1%	3.0%

話を聞いた相手は、「友人」(37.0%)、「職場の人」(31.1%)、「家族」(20.0%)、「学校の先生」(18.5%)の順であった。  
(図22-1)

問22-2 反論を聞いた時の感想  
(図22-2) (上段:人・下段:%)

回答者数	そのとおり	のそう	反発・	かど	無回答・不明
135	47	70	11	6	1
100.0	34.8%	51.9%	8.1%	4.4%	0.7%

聞いた時の感想は、「そのとおりと思った」が34.8%、「反発・疑問を感じた」が8.1%であった。  
(図22-2)

(問23) 同和地区に住む人との付き合いの有無

問23 同和地区に住む人との付き合いの有無(図23)  
(上段:人・下段:%)

回答者数	ある	ない	無回答・不明
489	124	335	30
100.0	25.4%	68.5%	6.1%

付き合いがある人は、25.4%であった。  
(図23)

問23-1 同和地区に住む人との付き合いの程度(複数回答)(図23-1)  
(上段:人・下段:%)

回答者数	近所づきあいをして	みことなどを一緒にしている	福祉や子どもの教育の取組	てAなどのメンバーとして	自治会、女性会、PT	で同じ職場で働いている関係	同じ職場で働いている関係	など、趣味の会や講習会	民謡、囲碁、料理など、一緒に習っている	盆踊りやまつり、スポーツなどを一緒に	あつて友人つきあ	学校時代からの友人つきあ	その他	無回答・不明
124	22	20	22	50	10	10	42	13	2					
100.0	17.7%	16.1%	17.7%	40.3%	8.1%	8.1%	33.9%	10.5%	1.6%					

付き合いの程度は、複数回答であるが、「同じ職場で働いているなど仕事の関係」(40.3%)、「学校時代からの友人」(33.9%)、「近所づきあい」及び「自治会などのメンバー」(いずれも17.7%)などであった。また、「地域の取組み」(16.1%)、「盆踊りやまつり、スポーツなど」及び「趣味の会や講習会など」(いずれも8.1%)、などでの付き合いもみられる。(図23-1)

(問24) 住宅を選ぶ際の忌避意識

問24 住宅を選ぶ際の忌避意識(図24)  
(上段:人・下段:%)

回答者数	うにあ和地区物件は避けると思	同和地区や同じ小学校区は避け	が同和地区の物件は避け	同和地区の物件は避け	らなずいれにあつてもこだわ	わからない	無回答・不明
489	115	114	109	140	11		
100.0	23.5%	23.3%	22.3%	28.6%	2.2%		

(参考 図24-1) (上段:人・下段:%)

合計	うにあ和地区物件は避けると思	同和地区や同じ小学校区は避け	が同和地区の物件は避け	同和地区の物件は避け	らなずいれにあつてもこだわ	わからない	無回答・不明
229	109	140	11				
46.8%	22.3%	28.6%	2.2%				

家の購入やマンションを借りたりするときに「同和地区や同じ小学校区は避ける」は23.5%、「同和地区は避けるが同じ小学校区は避けない」は23.3%、「いずれにあつてもこだわらない」は22.3%であった。他に「わからない」が28.6%あった。(図24)

(問25) 同和地区の人との結婚に関してもめごとや反対などを聞いた経験

問25 同和地区の人との結婚でもめごとや反対などを聞いた経験(図25) (上段:人・下段:%)

回答者数	ある	ない	不無回答
489	120	359	10
100.0	24.5%	73.4%	2.1%

同和地区の人との結婚に関してもめごとや反対などを聞いた経験は、「ある」とする人が24.5%、「ない」とする人が73.4%であった。(図25)

(問26) 同和地区出身者に対する差別をなくすための意見

問26 同和地区出身者に対する差別をなくすための意見 (図26)

(上段：人・下段：%)

	回答者数	非常に重要	やや重要	あまり重要ではない	重要ではない	わからない	無回答・不明
(1) 行政の一般施策で同和地区住民の自立を支える	489 100.0	76 15.5%	146 29.9%	112 22.9%	42 8.6%	92 18.8%	21 4.3%
(2) 同和地区住民が差別の現実や不当性を強く訴える	489 100.0	51 10.4%	131 26.8%	133 27.2%	77 15.7%	78 16.0%	19 3.9%
(3) 同和地区と周辺との交流を深め「まちづくりを進める	489 100.0	120 24.5%	180 36.8%	74 15.1%	22 4.5%	74 15.1%	19 3.9%
(4) 学校教育・社会教育を通じて教育・啓発活動積極的に行う	489 100.0	163 33.3%	166 33.9%	69 14.1%	33 6.7%	41 8.4%	17 3.5%
(5) 差別を法律で禁止する	489 100.0	89 18.2%	105 21.5%	102 20.9%	67 13.7%	108 22.1%	18 3.7%
(6) 口に出さないでそっとしておけば自然に差なくなる	489 100.0	76 15.5%	108 22.1%	75 15.3%	88 18.0%	124 25.4%	18 3.7%
(7) 同和地区の人々がかたまって住まず分散しむようにする	489 100.0	70 14.3%	125 25.6%	113 23.1%	52 10.6%	109 22.3%	20 4.1%
(8) 戸籍制度を大幅に見直す・廃止する	489 100.0	66 13.5%	70 14.3%	113 23.1%	63 12.9%	158 32.3%	19 3.9%

(参考 図26-1)

(上段：人・下段：%)

	回答者数	非常に重要 合計	重要な 合計	わからない、 不明の合計
(1) 行政の一般施策で同和地区住民の自立を支える	489 100.0%	222 45.4%	154 31.5%	113 23.1%
社会 (2) 同和地区住民が差別の現実や不当性を強く訴える	489 100.0%	182 37.2%	210 42.9%	97 19.8%
(3) 同和地区と周辺との交流を深め「まちづくりを進める	489 100.0%	300 61.3%	96 19.6%	93 19.0%
(4) 学校教育・社会教育を通じて教育・啓発活動積極的に行う	489 100.0%	329 67.3%	102 20.9%	58 11.9%
(5) 差別を法律で禁止する	489 100.0%	194 39.7%	169 34.6%	126 25.8%
(6) 口に出さないでそっとしておけば自然に差なくなる	489 100.0%	184 37.6%	163 33.3%	142 29.0%
(7) 同和地区の人々がかたまって住まず分散しむようにする	489 100.0%	195 39.9%	165 33.7%	129 26.4%
(8) 戸籍制度を大幅に見直す・廃止する	489 100.0%	136 27.8%	176 36.0%	177 36.2%

「非常に重要」と「やや重要」を合計した「重要」という意見が多い項目は、「(4)学校教育・社会教育を通じて教育・啓発活動を積極的に行う」(67.3%)、「(3)同和地区と周辺との交流を深め協働し『まちづくり』を進める」(61.3%)、「(1)行政の一般施策で同和地区住民の自立を支援する」(45.4%)などであった。(参考 図25-1)

(問27) 差別をする人と、なくそうとする人のどちらが孤立するか

問27 同和地区出身者に対する差別について、  
「A差別する人が孤立/B差別をなくそうとする人が孤立」  
(図27) (上段:人・下段:%)

回答者数	Aの意見に賛成	どちらかという とAの意見 に賛成	どちらかという とBの意見 に賛成	Bの意見に賛成	わからない	無回答・不明
489	60	105	134	40	134	16
100.0	12.3%	21.5%	27.4%	8.2%	27.4%	3.3%

(参考 図27-1)  
(上段:人・下段:%)

のかAの意見に賛成・どちらか	合計	とBの意見に賛成・どちらか	のわからない、無回答・不明
165	174	150	
33.7%	35.6%	30.7%	

「Aの意見に賛成」と「どちらかというとAの意見に賛成」を合計した「今日では差別は許されない状況にあり、差別する人が孤立する」とする人が33.7%、「Bの意見に賛成」と「どちらかというとBの意見に賛成」を合計した「世間では、まだまだ差別が残っており、差別をなくそうとする人が孤立する」とする人が35.6%であった。(参考 図27-1)

(問28) 日常生活の中で、同和地区の人への差別発言に対する態度

問28 日常生活の中での同和地区への差別発言に対する態度 (図28) (上段:人・下段:%)

回答者数	思し差別的な発言があつたと指摘し合う(と)	思は表向きは話をは合わせるが差別はいけないことを伝える(と)	う別表向きは話を合わせ自分も差別的な言葉を口にする(と思)	力ほかの話題に変えるよう努力する(と思)	思何もせずに黙っている(と)	その他	無回答・不明
489	99	169	8	95	84	13	21
100.0	20.2%	34.6%	1.6%	19.4%	17.2%	2.7%	4.3%

差別発言に対する態度としては、「話を合わせるが何とか差別はいけないことを伝える」(34.6%)、「発言を指摘し話し合う」(20.2%)、「話題を変える」(19.4%)、「何もせずに黙っている」(17.2%)の順であった。(図28)